

作成支援様式の入力手順書

1 はじめに

事業活動温暖化対策計画書（作成支援様式）及び事業活動温暖化対策実施状況報告書（作成支援様式）は、excel 形式のファイルで、複数のシートで構成されています。

作成支援様式では、色が付いている箇所を入力します。また、入力する箇所をクリックすると、入力の際の注意事項が表示されます。

本手順書では、入力における注意点を中心に各シートの入力手順について説明をします。記載事項に関する詳しい説明は、「事業活動温暖化対策計画書等作成要領」を参照ください。

2 事業活動温暖化対策計画書（作成支援様式）

（1）ファイルの概要

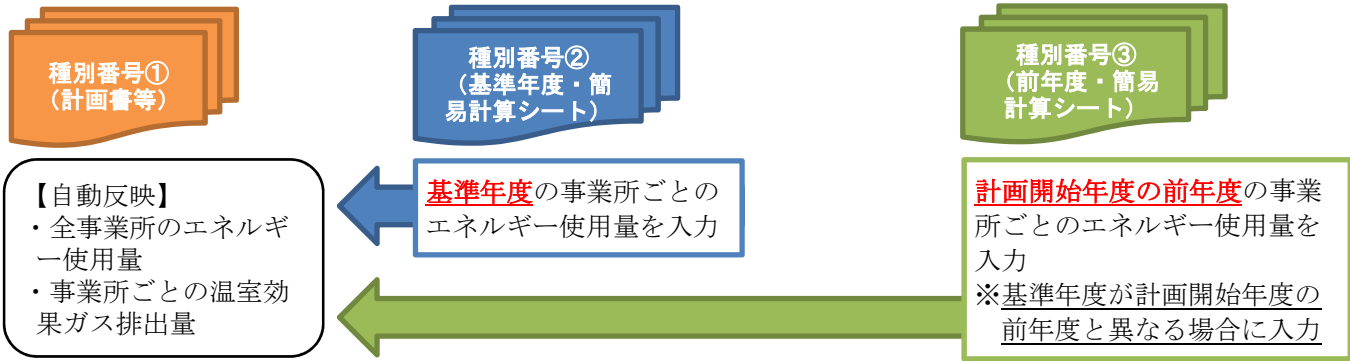
計画書の作成支援様式ファイルは、以下のシートで構成されています。

表 1 事業活動温暖化対策計画書（作成支援様式）の構成 (1)

種別 番号	シート名	ページ		入力内容
		ページ 番号	タイトル	
①	1号事業_計画	1	別記第1号様式（第6条～第8条関係） 事業活動温暖化対策（変更）計画書	事業者名・担当部署 等
		2	事業活動温暖化対策計画に関する事項	計画期間・基準年度 排出量等
		3	別表1 エネルギー使用量（前年度）	原則入力不要 例外）自家発電した 電気を使用している 場合は、その電力量 をセル：M103に入力
		4	別表2 エネルギーの使用に伴って発生 する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出 量	入力不要 ※②のシートの入力 結果を自動反映
		5	別表2 エネルギーの使用に伴って発生 する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出 量	入力不要 ※③のシートを入力 すると自動反映
②	【基準年度】事業所 1～3	1	【基準年度】簡易計算シート：事業所 1	基準年度のエネルギー 使用量を事業所ご とに入力 1シートあたり、3事 業所分入力可能
		2	【基準年度】簡易計算シート：事業所 2	
		3	【基準年度】簡易計算シート：事業所 3	
	【基準年度】事業所 4～6	【基準年度】事業所 1～3 同様		
	【基準年度】事業所 7～9			
【基準年度】事業所 10～12				
【基準年度】事業所 13～15				

表 1 事業活動温暖化対策計画書（作成支援様式）の構成 (2)

種別 番号	シート名	ページ		入力内容
		ページ 番号	タイトル	
③	【前年度】事業所 1～3	1	【前年度】簡易計算シート：事業所 1	基準年度が計画開始の前年度以外の場合 入力 計画開始の前年度のエネルギー使用量を事業所ごとに入力 1シートあたり、3事業所分入力可能
		2	【前年度】簡易計算シート：事業所 2	
		3	【前年度】簡易計算シート：事業所 3	
	【前年度】事業所 4～6	【前年度】事業所 1～3 同様		
	【前年度】事業所 7～9			
【前年度】事業所 10～12				
【前年度】事業所 13～15				



(2) “別記第1号様式(第6条-第8条関係) 事業活動温暖化対策(変更)計画書” の入力手順

シートの青色のセルは入力必須の箇所を表しています。入力すると白色になります。

シート名：1号事業_計画	ページ番号：1	タイトル：別記第1号様式(第6条-第8条関係) 事業活動温暖化対策(変更)計画書
--------------	---------	--

別記第1号様式(第6条-第8条関係)

事業活動温暖化対策(変更)計画書

2021年 7月 31日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

提出者 住所 熊本市中心区〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 株式会社〇〇〇〇

熊本県地球温暖化の防止に関する条例第17条第1項の規定により、次のとおり提出します。

担当部署名	〇〇部 〇〇課
担当	(〒 〇〇〇-〇〇)
連絡先	所在地 熊本市中心区〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
担当者名	〇〇 〇〇
電話番号	電話番号 096 - 〇〇〇 - 〇〇〇
	FAX番号 096 - 〇〇〇 - 〇〇〇
	メールアドレス 〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.〇〇

※受付欄 ※摘要

備考 1 ※欄は、記入しないでください。

別記第1号様式(第6条-第8条関係)

事業活動温暖化対策(変更)計画書

2021年 7月 31日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

提出者 住所 熊本市中心区〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 株式会社〇〇〇〇
代表取締役社長 〇〇 〇〇

熊本県地球温暖化の防止に関する条例第17条第1項の規定により、次のとおり提出します。

担当部署名	〇〇部 〇〇課
担当	(〒 〇〇〇-〇〇)
連絡先	所在地 熊本市中心区〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
担当者名	〇〇 〇〇
電話番号	電話番号 096 - 〇〇〇 - 〇〇〇
	FAX番号 096 - 〇〇〇 - 〇〇〇
	メールアドレス 〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.〇〇

※受付欄 ※摘要

備考 1 ※欄は、記入しないでください。

Step 1：提出日、住所、氏名、条項の入力

Step 2：連絡先の入力

図 1 別記第1号様式の入力手順

(3) “事業活動温暖化対策計画に関する事項” の入力手順

シートの青色のセルは入力必須の箇所、オレンジ色のセルは該当する場合に入力が必要な箇所を表しています。入力すると白色に変わります。

シート名：1号事業_計画	ページ番号：2	タイトル：事業活動温暖化対策計画に関する事項
--------------	---------	------------------------

<p>事業活動温暖化対策計画に関する事項 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更</p> <p>住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 熊本市中央区○○○○○○○○ 新規・変更のどちらかをチェック</p> <p>氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社○○○○ 上段に事業者名、下段に役職名・代表者名を入力 代表取締役社長 ○○ ○○</p> <p>事業概要 製造業</p> <p>該当する事業活動温暖化対策に関する事項 <input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用) プルダウンで職業分類を選択 <input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者) <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者</p> <p>期間 2021年度～2025年度 計画開始年度と最終年度の数字を入力</p> <p>温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針</p> <p>温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制 環境マネジメントシステム名称 適用範囲 取得年月日</p> <p>温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>温室効果ガス算定</th> <th>基準年度の実績(A)</th> <th>前年度の実績</th> <th>目標年度(B)</th> <th>増減率</th> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>()年度</td> <td>()年度</td> <td>(2025)年度</td> <td>((B-A)/A)</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>t-CO₂</td> <td>t-CO₂</td> <td>t-CO₂</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標</th> <th>基準年度の実績(C)</th> <th>前年度の実績</th> <th>目標年度(D)</th> <th>増減率</th> </tr> <tr> <td>原単位</td> <td>原単位</td> <td>原単位</td> <td>原単位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当たり</td> <td>当たり</td> <td>当たり</td> <td>当たり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>t-CO₂</td> <td>t-CO₂</td> <td>t-CO₂</td> <td>t-CO₂</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>原単位の考え方</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> <p>特記事項</p>	温室効果ガス算定	基準年度の実績(A)	前年度の実績	目標年度(B)	増減率	排出量	()年度	()年度	(2025)年度	((B-A)/A)	排出量	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	%	温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率	原単位	原単位	原単位	原単位		当たり	当たり	当たり	当たり		t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	%	原単位の考え方					<p>事業活動温暖化対策計画に関する事項 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更</p> <p>住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) ※前年度の原油換算エネルギー使用量は入力不要(自動入力)(前年度の燃料使用量等を入力すると自動的に反映します。)</p> <p>氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 自動車運送事業者は、県内登録の自動車数を入力</p> <p>事業活動温暖化対策に関する事項 <input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用) 環境マネジメントシステムを取得している場合に入力名称を入力するとオレンジ色になり、適用範囲・取得年月日を入力 <input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者) <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者</p> <p>計画期間 2021年度～2025年度</p> <p>温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針 2020年度に策定したグリーンプログラムに基づき省エネを推進し、2025年度の温室効果ガス排出量を2020年度比で5%削減する。</p> <p>温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制 環境マネジメントシステム名称 ISO14001 適用範囲 全事業所 取得年月日 2013/4/1 入力不要(計画期間を入力すると自動入力されます。)</p> <p>温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房設定温度(夏季28℃、冬季20℃)そのほかエコエ ・LED照明設備の導入(本社、2021年度中) ・太陽光発電設備の導入(A支店、2022年度中) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>温室効果ガス算定</th> <th>基準年度の実績(A)</th> <th>前年度の実績</th> <th>目標年度(B)</th> <th>増減率</th> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>(2020)年度</td> <td>(2020)年度</td> <td>(2025)年度</td> <td>((B-A)/A)</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>t-CO₂</td> <td>t-CO₂</td> <td>5,484 t-CO₂</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標</th> <th>基準年度の実績(C)</th> <th>前年度の実績</th> <th>目標年度(D)</th> <th>増減率</th> </tr> <tr> <td>原単位</td> <td>原単位</td> <td>原単位</td> <td>原単位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当たり</td> <td>当たり</td> <td>当たり</td> <td>当たり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>t-CO₂</td> <td>0.960 t-CO₂</td> <td>0.960 t-CO₂</td> <td>0.840 t-CO₂</td> <td>△12.5%</td> </tr> <tr> <td>原単位の考え方</td> <td colspan="4">(温室効果ガス排出量) / (県内事業所の総床面積)</td> </tr> </table> <p>特記事項 原単位算定排出量(基準年度、前年度、目標年度)、原単位の考え方を入力 目標年度の温室効果ガス排出量(目標値)を入力</p>	温室効果ガス算定	基準年度の実績(A)	前年度の実績	目標年度(B)	増減率	排出量	(2020)年度	(2020)年度	(2025)年度	((B-A)/A)	排出量	t-CO ₂	t-CO ₂	5,484 t-CO ₂	%	温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率	原単位	原単位	原単位	原単位		当たり	当たり	当たり	当たり		t-CO ₂	0.960 t-CO ₂	0.960 t-CO ₂	0.840 t-CO ₂	△12.5%	原単位の考え方	(温室効果ガス排出量) / (県内事業所の総床面積)			
温室効果ガス算定	基準年度の実績(A)	前年度の実績	目標年度(B)	増減率																																																																													
排出量	()年度	()年度	(2025)年度	((B-A)/A)																																																																													
排出量	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	%																																																																													
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率																																																																													
原単位	原単位	原単位	原単位																																																																														
当たり	当たり	当たり	当たり																																																																														
t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	%																																																																													
原単位の考え方																																																																																	
温室効果ガス算定	基準年度の実績(A)	前年度の実績	目標年度(B)	増減率																																																																													
排出量	(2020)年度	(2020)年度	(2025)年度	((B-A)/A)																																																																													
排出量	t-CO ₂	t-CO ₂	5,484 t-CO ₂	%																																																																													
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率																																																																													
原単位	原単位	原単位	原単位																																																																														
当たり	当たり	当たり	当たり																																																																														
t-CO ₂	0.960 t-CO ₂	0.960 t-CO ₂	0.840 t-CO ₂	△12.5%																																																																													
原単位の考え方	(温室効果ガス排出量) / (県内事業所の総床面積)																																																																																

Step 1：区分、住所、氏名、事業概要、該当要件、計画期間の入力	Step 2：排出抑制の方針、
-----------------------------------	-----------------

図 2 事業活動温暖化対策計画に関する事項の入力手順

(4) “別表1 エネルギー使用量(前年度)”の入力について

別表1 エネルギー使用量は、原則入力不要です。自家発電した電気を使用している場合のみ、オレンジ色のセルに、自家発電電力量を入力します。

エネルギー使用量と熱量 GJ は、簡易計算シートに事業所ごとのエネルギー使用量を入力すると、全事業所の合計が自動反映されます。

簡易計算シートの入力に際しては、次ページを参照ください。

シート名：1号事業_計画		ページ番号：3		タイトル：別表1 エネルギー使用量(前年度)			
69	別表1	エネルギー使用量(前年度)					
70	エネルギーの種類	使用量		換算係数		熱量GJ (使用量×換算係数)	
71		数値	単位	数値	単位		
72	原油(コンデンセートを除く。)	0	kl	38.2	GJ/kl	0	
73	コンデンセート(NGL)	0	kl	35.3	GJ/kl	0	
74	揮発油(ガソリン)	0	kl	34.6	GJ/kl	0	
75	ナフサ	0	kl	33.6	GJ/kl	0	
76	灯油	0	kl	36.7	GJ/kl	0	
77	軽油	0	kl	37.7	GJ/kl	0	
78	A重油	0	kl	39.1	GJ/kl	0	
79	B・C重油	0	kl	41.9	GJ/kl	0	
80	石油アスファルト	0	t	40.9	GJ/t	0	
81	石油コークス	0	t	29.9	GJ/t	0	
82	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0	t	50.8	GJ/t	0
83		石油系炭化水素ガス	0	千m ³	44.9	GJ/千m ³	0
84	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	0	t	54.6	GJ/t	0
85		その他可燃性天然ガス	0	千m ³	43.5	GJ/千m ³	0
86	原料炭	原料炭	0	t	29.0	GJ/t	0
87		一般炭	0	t	25.7	GJ/t	0
88		無煙炭	0	t	26.9	GJ/t	0
89	石炭コークス	0	t	29.4	GJ/t	0	
90	コールタール	0	t	37.3	GJ/t	0	
91	コークス炉ガス	0	千m ³	21.1	GJ/千m ³	0	
92	高炉ガス	0	千m ³	3.41	GJ/千m ³	0	
93	転炉ガス	0	千m ³	8.41	GJ/千m ³	0	
94	その他の燃料等	都市ガス	0	千m ³	46.00	GJ/千m ³	0
95		(都市ガス以外)					0
96	産業用蒸気	0	GJ	1.02	GJ/GJ	0	
97	産業用以外の蒸気	0	GJ	1.36	GJ/GJ	0	
98	温水	0	GJ	1.36	GJ/GJ	0	
99	冷水	0	GJ	1.36	GJ/GJ	0	
100	一般電気事業者	昼間買電	0	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0
101		夜間買電	0	千kWh	9.28	GJ/千kWh	0
102		上記以外の買電	0	千kWh	9.76	GJ/千kWh	0
103	その他	自家発電		千kWh		GJ/千kWh	
104	合計GJ						0
	原油換算係数 kl/GJ						0.0258
	原油換算エネルギー使用量						0

自家発電した電気を使用している場合は、**自家発電電力量を入力**

図3 別表1 エネルギー使用量(前年度)の入力について

(5) “別表2 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量”について

別表2は、シート：1号事業_計画の4ページ及び5ページにあります。4ページは基準年度における全事業所の温室効果ガス排出量の算定結果、5ページは計画開始年度の前年度における全事業所の温室効果ガス排出量の算定結果の一覧です。

4ページ、5ページともに入力は不要です。事業所ごとのエネルギー使用量を簡易計算シートに入力すると、自動で温室効果ガスが算定され、その結果が自動的に反映されます。

簡易計算シートの入力に際しては、次ページを参照ください。

(6) “【基準年度】簡易計算シート：事業所1”の入力について

シート：【基準年度】事業所1～3は、計画書を提出する全事業者が入力します。

シートには、事業所ごとのエネルギー使用量を入力すると自動で温室効果ガスが算定される簡易計算シートが3ページあります。

色がついているセルのうち、該当する箇所を入力します。簡易計算シートは、入力しても白色に変わりません。

基本的には、1ページに1事業所のエネルギー使用量を入力しますが、原油換算エネルギー使用量が1500kl未満である事業所については、まとめて記入してもかまいません。

事業所数に応じ、【基準年度】事業所4～6以降のシートも入力します。簡易計算シートは、全部で15ページあり、15事業所分の入力が可能です。

シート名：【基準年度】事業所1～3		ページ番号：1		タイトル：【基準年度】簡易計算シート：事業所1			
【基準年度】簡易計算シート：事業所1							
事業所の名称			熊本本社				
事業所の所在地			熊本市〇〇町〇番				
計算方法							
(1)原油換算エネルギー使用量：①使用量※×②熱量換算係数×0.0258 ※燃料、他人から供給された電気、他人から供給された熱							
(2)CO2排出量の算定方法＝下記i)～iii)の合計							
i)燃料の使用							
①(燃料の種類ごとに)燃料の使用量(t,kl,1,000Nm3)×②単位発熱量(GJ/t,GJ/kl,GJ/1,000Nm3)×③単位発熱量あたり排出量(tC/GJ)×44/12							
ii)他人から供給された電気の使用							
①電気の使用量(kWh)×③単位使用量当たり排出量(tCO2/kWh)							
iii)他人から供給された熱の使用							
①(熱の種類ごとに)熱の使用量(GJ)×③単位使用量当たり排出量(tCO2/GJ)							
エネルギーの種類		単位	①使用量	②熱量換算係数	熱量GJ	排出係数	CO2量t-CO2
原油(コンデンセートを除く)				38.2	0.0	0.0187	0.0
NGL(コンデンセート)				35.3	0.0	0.0184	0.0
揮発油(ガソリン)				34.6	0.0	0.0183	0.0
ナフサ				33.6	0.0	0.0182	0.0
灯油		KL		36.7	0.0	0.0185	0.0
軽油		KL		37.7	0.0	0.0187	0.0
A重油		KL	800.0	39.1			
B・C重油		KL		41.9			
石油アスファルト		t		40.9			
石油コークス		t		29.9			
石油ガス LPG		t		50.8			
石油系炭化水素		千m3		44.9			
液化天然ガス LNG		t		54.6			
⑤ 液化天然ガス		千m3		43.5			
原料炭		t		29.0			
一般炭		t		25.7			
無煙炭		t		26.9			
石炭コークス		t		29.4			
コールタール		t		37.3			
コークス炉ガス		千m3		21.1			
高炉ガス		千m3		3.41			
転炉ガス		千m3		8.41			
⑥ その他燃料 都市ガス		千m3	10.0	46	460.0	0.0136	22.9
その他燃料 ()					0.0		0.0
その他燃料 ()					0.0		0.0
産業用蒸気		Gj		1.02	0.0	0.060	0.0
産業以外の蒸気		Gj		1.36	0.0	0.057	0.0
温水		Gj		1.36	0.0	0.057	0.0
冷水		Gj		1.36	0.0	0.057	0.0
⑦ 燃料・熱			熱量小計(GJ)	31,740.0	CO2量小計	2,190.6	
⑧ 電気			熱量小計(GJ)	4,943.0	CO2量小計	299.9	
電気事業者(九州電力)からの昼間買電		千kwh	300.0	9.97	2,991.0	0.613	183.9
電気事業者(九州電力)からの夜間買電		千kwh		9.28	0.0	0.613	0.0
上記以外の買電気 (〇〇電力)		千kwh	200.0	9.76	1,952.0	0.58	116.0
⑨ 電気			熱量小計(GJ)	4,943.0	CO2量小計	299.9	
⑩ 原油換算			熱量合計(GJ)	36,683.0			
原油換算係数				0.0258			
原油換算エネルギー使用量(kl)							2,490.5

事業所の名称・所在地を入力

エネルギー種類ごとに年間使用量を入力

都市ガスの熱量換算係数をプルダウンで選択
※西部ガス、九州ガス、天草ガス、山鹿都市ガスの場合、プルダウンで選択

シート：1号事業計画、セル；J48に基準年度を入力すると、自動で基準年度の九州電力の排出係数を反映(※電力の排出係数は毎年変わりますので御留意ください。)

九州電力以外の電力購入先を入力

九州電力以外の電力購入先の排出係数を入力

図4 【基準年度】簡易計算シート：事業所1の入力について

(7) “【前年度】簡易計算シート：事業所 1” の入力について

シート：【前年度】事業所 1～3 は、基準年度を計画開始年度の前年度以外に設定した場合に入力します。

例 計画期間 2021 年度～2025 年度、基準年度 2013 年度

シートには、事業所ごとのエネルギー使用量を入力すると自動で温室効果ガスが算定される簡易計算シートが 3 ページあります。

入力方法は、シート：【基準年度】事業所 1～3 と同様です（前ページ参照）。

シート名：【前年度】事業所 1～3	ページ番号：1	タイトル：【前年度】簡易計算シート：事業所 1
-------------------	---------	-------------------------

【前年度】簡易計算シート：事業所 1						
事業所の名称		熊本本社				
事業所の所在地		熊本市〇〇町〇番				
計算方法						
(1) 原油換算エネルギー使用量：①使用量×②熱量換算係数×0.0258 ※燃料、他人から供給された電気、他人から供給された熱						
(2) CO2排出量の算定方法＝下記 i)～iii) の合計						
i) 燃料の使用						
①(燃料の種類ごとに) 燃料の使用量(t, kl, 1,000Nm3) × ②単位発熱量(GJ/t, GJ/kl, GJ/1,000Nm3) × ③単位発熱量あたり排出量(tC/GJ) × 44/12						
ii) 他人から供給された電気の使用						
①電気の使用量(kWh) × ③単位使用量当たり排出量(tCO2/kWh)						
iii) 他人から供給された熱の使用						
①(熱の種類ごとに) 熱の使用量(GJ) × ③単位使用量当たり排出量(tCO2/GJ)						
エネルギーの種類	単位	①使用量	②熱量換算係数	熱量 GJ	排出係数	CO2量 t-CO2
原油(コンデンセートを除く)			38.2	0.0	0.0187	0.0
NGL(コンデンセート)			35.3	0.0	0.0184	0.0
揮発油(ガソリン)			34.6	0.0	0.0183	0.0
ナフサ			33.6	0.0	0.0182	0.0
灯油	KL		36.7	0.0	0.0185	0.0
軽油	KL		37			
A重油	KL	786.0	39			
B・C重油	KL		41			
石油アスファルト	t		40			
石油コークス	t		29			
石油ガス LPG	t		50			
石油系炭化水素	km3		44			
液化天然ガス LNG	t		54			
⑤ 燃料・熱						
その他天然ガス	km3		43			
原料炭	t		29.0	0.0		
一般炭	t		25.7	0.0		
無煙炭	t		26.9	0.0		
石炭コークス	t		29.4	0.0		
コールタール	t		37.3	0.0		
コークス炉ガス	km3		21.1			
高炉ガス	km3		3.41	0.0	0.0263	0.0
転炉ガス	km3		8.41	0.0	0.0384	0.0
その他燃料 都市ガス	km3	12.0	46	552.0	0.0136	27.5
その他燃料 ()				0.0		0.0
その他燃料 ()				0.0		0.0
産業用蒸気			1.02	0.0	0.060	0.0
産業用温水			1.36	0.0	0.057	0.0
産業用冷水			1.36	0.0	0.057	0.0
⑥ 電気						
電気事業者(九州電力)からの昼間買電	kwkwh	500.0	9.97	4,985.0	0.584	292.0
電気事業者(九州電力)からの夜間買電	kwkwh		9.28	0.0	0.584	0.0
上記以外の買電	kwkwh		9.76	0.0		0.0
⑦ 燃料・熱 + ⑥ 電気						
			熱量小計(GJ)	31,284.6	CO2量小計	2,157.3
			熱量合計(GJ)	36,269.6	CO2量合計	2,449.3
			原油換算係数	0.0258		
			原油換算エネルギー使用量(kl)	936		

事業所の名称・所在地を入力

エネルギー種類ごとに年間使用量を入力

都市ガスの熱量換算係数をプルダウンで選択
※西部ガス、九州ガス、天草ガス、山鹿
都市ガスの場合、プルダウンで選択
※上記以外はガス会社に確認し、入力

シート：1号事業_計画、セル：J48に基準年度を入力すると、自動で計画開始年度の前年度の九州電力の排出係数を反映

九州電力以外から電力を購入している場合には、購入先名及び排出係数を入力

図 5 【前年度】簡易計算シート：事業所 1 の入力について

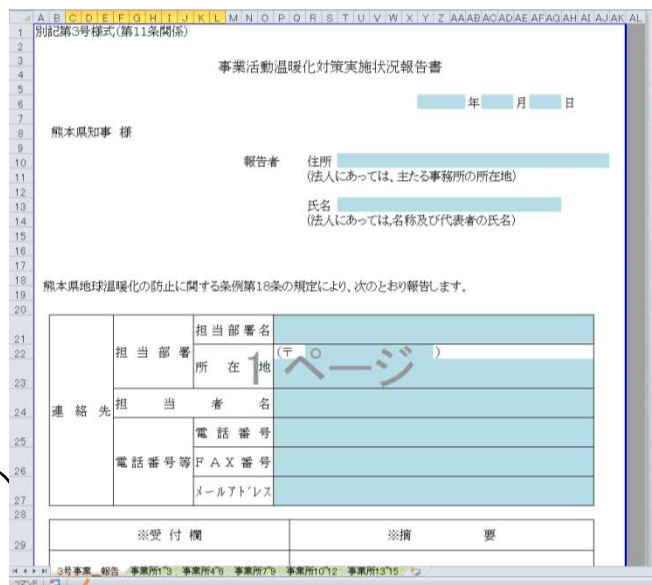
3 事業活動温暖化対策実施状況報告書（作成支援様式）

（1）ファイルの概要

報告書の作成支援様式ファイルは、以下のシートで構成されています。

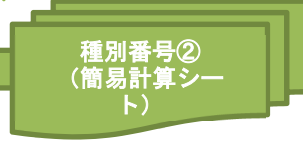
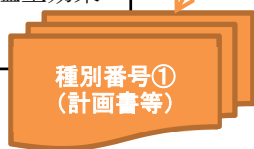
表 1 事業活動温暖化対策実施状況報告書（作成支援様式）の構成

種別 番号	シート名	ページ		入力内容
		ページ番 号	タイトル	
①	3号事業_報告	1	別記第3号様式（第11条関係） 事業活動温暖化対策実施状況報告書	事業者名・担当部署等
		2	事業活動温暖化対策計画の実施状況に関する事項	計画期間・排出状況等
		3	別表1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量	入力不要 ※②のシートを入力すると自動反映
②	事業所1~3	1	簡易計算シート：事業所1	基準年度のエネルギー使用量を事業所ごとに入力 1シートあたり、3事業所分入力可能
		2	簡易計算シート：事業所2	
		3	簡易計算シート：事業所3	
	事業所4~6	事業所1~3同様		
	事業所7~9			
	事業所10~12			
	事業所13~15			



【自動反映】

- ・全事業所のエネルギー使用量
- ・事業所ごとの温室効果ガス排出量



事業所ごとのエネルギー使用量を入力
※2022年度に報告書を提出する場合は、2021年度の実績を入力

（2）“別記第3号様式（第11条関係）事業活動温暖化対策実施状況報告書”の入力手順

“別記第1号様式（第6条―第8条関係）事業活動温暖化対策（変更）計画書”の入力手順と同様です。本手順書の3ページを参照ください。

(3) “事業活動温暖化対策計画の実施状況に関する事項” の入力手順

シートの青色のセルは入力必須の箇所、オレンジ色のセルは該当する場合に入力が必要な箇所を表しています。入力すると白色に変わります。

※この入力手順では、計画書の計画期間（2021～2025年）のうち、2021年度の実施状況を2022年度に報告する場合で作成しています。

タイトル：事業活動温暖化対策計画の実施状況に関する事項

事業活動温暖化対策計画の実施状況に関する事項		2021年度				
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）		株式会社〇〇〇〇 代表取締役社長 〇〇 〇〇				
事業概要		製造業				
該当する事業者要件		<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者（大規模エネルギー使用事業者） <input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者（自動車運送事業者） <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間		2021年度～2025年度				
計画書に定めた措置の実施状況		・冷暖房設定温度（夏季28℃、冬季20℃）そのほかエコオフィスの徹底（全事業所） ・LED照明設備の導入（本社、令和6年度中） ・太陽光発電設備の導入（A支店、令和5年度中）				
温室効果ガスの排出状況等	年度区分	基準年度前年度 2020年度	計画期間 2021年度 ()年度 ()年度 ()年度			目標年度 ()年度 ()年度 ()年度 ()年度 ()年度 ()年度 ()年度
	①排出量 t-CO ₂		5,773	5,582		5,489
	増減率（基準年度比）			△ 3.3%		△ 5.0%
	補完的手段による削減			15		
	②合計(t-CO ₂)			15		
	①-②			5,567		
	差引後排出量 (t-CO ₂)					
	差引後増減率（基準年度比）			△ 3.6%		
	原単位算定排出量 t-CO ₂		0.960	0.930		0.840
	増減率（基準年度比）			△ 3.1%		△ 12.5%
差引後排出量 (t-CO ₂)			0.930			
差引後増減率（基準年度比）			△ 3.1%			
原単位の考え方	(温室効果ガス排出量) / (県内事業所の総床面積)					
計画の進捗又は達成の状況等	職員の省エネ意識の浸透により、概ね計画どおり排出削減が進んでいる。					
特記事項						

Step 1：報告年度、所在地、氏名、事業概要、該当要件、計画期間等

Step 2：排出量、補完的手段による削減量、原単位排出量

図 6 事業活動温暖化対策計画の実施状況に関する事項の入力手順

(4) “別表 1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量” の入力について

別表 1 は、報告書を提出する年度の前年度における全事業所の温室効果ガス排出量の算定結果の一覧です。

別表 1 のは不要です。事業所ごとのエネルギー使用量を簡易計算シートに入力すると、自動で温室効果ガスが算定され、その結果が自動的に反映されます。

簡易計算シートの入力手順は、本手順書の 6～7 ページを参照ください。

(5) “簡易計算シート：事業所 1” の入力について

シート：事業所 1～3 には、事業所ごとのエネルギー使用量を入力すると自動で温室効果ガスが算定される簡易計算シートが 3 ページあります。

入力方法は、事業活動温暖化対策計画書（作成支援様式）のシート：【基準年度】事業所 1～3 と同様です。入力に際しては、本手順書の 6～7 ページを参照ください。